

夏休みには

7月21日（金）から8月21日（月）まで、約1か月間の夏季休業、夏休みに入ります。1か月あれば、いろいろなことができます。時間はたっぷりあります。

1年生は、この夏休みをどのように過ごしますか。中学生の夏休みは、小学校までの夏休みとは違います。一番いいのは、授業が進まないことです。すなわち、遅れを挽回（ばんかい）できるということです。1学期の学習内容は、どのくらい身につけていますか。心配な教科はありませんか。この夏休みに、4月からの復習をしたとしたら、2学期からの学習が変わるでしょう。数学は、小学校の復習からやってもいいのです。こういうことは、夏休みでないとできません。大きなチャンスです。また、1年生は、読書の夏にするべきです。数冊の本を読む夏休みにしてください。

2年生の夏休みは、どのようなものになるのでしょうか。1年後の中学3年生の夏休みは、受験生としての夏になります。学習面での不安はありませんか。一番心配な教科は何ですか。苦手な教科ほど、普段は勉強しないものです。中学2年生の夏休みは、苦手教科の勉強をする夏です。今、やらないと、どんどん厳しくなるでしょう。高いレベルでなくていいのです。AとBならばA、基礎と応用ならば基礎でいいのです。それを繰り返しやることです。

この夏休みは、苦手な〇〇の勉強をすると決めて取り組んでください。2年生も、夏は読書です。中学2年生は、子どもから大人へと成長する大事な時期です。この時期に読書をするには意味のあることです。皆さんの中には、太宰治（だざいおさむ）の本を読んでいる人もいます。大人の中学生です。

3年生は、高校入試に向けて勉強をするのですが、1日に何時間勉強できるのかという問題があります。いくら時間があっても、1日に8時間勉強するのは、なかなかむずかしいことです。これを続けるとなると、容易（ようい）ではありません。そこで、工夫が必要になってきます。2時間×3回＝6時間、3時間×2回＝6時間、2時間＋1時間＋2時間＋1時間＝6時間など、時間の区切り方と、勉強する場所を考えます。勉強時間を最低6時間に設定して、できるときは増やすという方法です。

人は、やらなければならないことがあると、そのことから逃げたくなるときがあります。これを「逃避（とうひ）」と言います。問題は、勉強から逃げたときに何をしているかです。スマホなどに逃げれば、勉強の効果はなくなります。本に逃げてはどうでしょうか。読書ならば、罪悪感（ざいあくかん）も少ないのではないのでしょうか。読書は、受験勉強の一つとも言えます。

今までの夏休みと、中学3年生の夏休みの違いは、多くの中学3年生が勉強をしているという点です。長距離走で考えてみましょう。みんなそれぞれのペースで走っています。もし、自分だけ走らなかったとしたら、どうでしょう。追いつくのはむずかしいのではないのでしょうか。それが、受験勉強です。